

平成28年度 学校評価(職員・生徒・保護者比較表) 考察

1+2は、1: と思う、2: やや思うの合計 評価 ◎: 90%以上、○: 90未満~80、△: 80%未満			職員集計結果		生徒集計結果		保護者集計結果		職員の自己評価等(考察)	学校関係者評価	
No.	大項目	他質問紙との比較	1+2	評価	1+2	評価	1+2	評価			
A	学校教育目標の具現化		学校教育目標を踏まえて学校経営がなされている。	100	◎				<p>○H28年度の学校経営の重点目標(職員C票)は、(1)学力の向上「授業力の向上」、(2)生徒指導の充実については、「家庭学習の改善(43%)」を除いて、どの項目も90%以上であった。(3)道徳教育の充実は、各項目57%~82%で、特に「指導計画に基づいた授業」に課題を残した。(4)体力の向上は95%を超えたが、(5)生徒の自主的な活動では、特に「あいさつ(38%)」と「清掃(50%)」に課題がある。(5)北中の伝統は、「学友会活動」と「自主的な部活動」は高く、「体験活動(65%)」が低かった。</p> <p>(1)と(2)は、北中の喫緊の課題として取り組んだ結果、評価が高かった。課題としては、「自主的な家庭学習」、「指導計画に基づいた道徳の授業」、「清掃」、「挨拶」、「図書館利用」、「体験活動」が上げられる。</p> <p>◎生徒、保護者ともに項目1「学校生活を楽しんでいる」は昨年度同様に90%を超えた。生徒、保護者の項目2「目標を持った充実した学校生活を送っている」は、生徒は昨年度と同様であったが、保護者はやや低い評価になった。</p> <p>●学力向上の取組は、校内研究で「甲府スタイルの授業」の実践と家庭学習の充実を核に研究を進めている。具体的には、見通しと振り返りを核にした授業づくり(生徒主体の授業、目標と評価の一体化)と、家庭学習の習慣化に向けた実践をしている。また、学区の小学校との連携も視野に研究を進めている。</p>	<p>●学校の主体は生徒である。生徒の92%が「学校が楽しい」と満足していることが大切。生徒の様子を家庭で見守る保護者も96%が肯定的であるのはとても良い。</p> <p>●学校が楽しいということが、根底になければ学校が様々な取り組みを行っても成果は上がらない。その上にたつて、生徒や保護者がさらに「目標を持って充実した学校生活を送っている」と思えるように、取り組みの質を上げて、充実感のある学校生活になるようにしてほしい。</p>	
		生徒1, 保護者1	目標の学校像(楽しい学校 活力ある学校 美しい学校)を意識した取組をしている。	96	◎	92	◎	96			◎
		生徒2, 保護者2	目標の生徒像(自ら学ぶ生徒 素直な心を持つ生徒 健康な体をつくる生徒)を意識した取組をしている。	92	◎	83	○	79			△
			目標の教師像(情熱のある教師 責任感のある教師 実践力のある教師)を意識した取組をしている。	100	◎						
			職員会議や企画委員会、校内生指会、学友会顧問会(他)が有効に機能し、結果が教育活動や学校運営に生かされている。	92	◎						
B	学校運営全般		教職員間・家庭・関係機関との報告・連絡・相談体制ができています。(事件・事故・災害対応)	100	◎				<p>○「外部講師(地域人材)活用」について、生徒・保護者に比べて職員の評価が低い。本年度、北新教育会学習講師延べ17名、学校林活動講師春2年(13名)秋1年(5名)、部活動外部指導者2名(サッカー、バレー)、学生ボランティア(2名)、1年ネット講話講師1名、1年福祉講話講師6名、2年職業講話講師(6名)、AED講師3名、校内研講師(市教委2名・梨大1名)、講演会講師1名、1年音楽筆講師1名、合唱祭講師1名、楽器奏者4名、PTA合唱指揮・伴奏者(2名)の外部講師を招聘した。学校や各学年で講演会の講師招聘は、PTAの特活補助費予算でも支援をいただいているので、年間行事計画に位置づけていく。</p> <p>○学校の施設・設備で修理が必要な箇所がある。市による営繕申請を行っているが、予算の関係ですぐに修理できない場所もあるが、引き続き優先順位をつけながら改善を図っていく。</p> <p>◎保護者アンケートの項目3「家庭への連絡や積極的な情報提供」は、H27の75から96に上昇している。今後も、学校便り、学年通信、学級通信、通知、マメルメール等、積極的な発信をしていく。</p> <p>●外部講師(地域人材)の活用を年間計画に位置づけ、計画的に行っていく。</p>	<p>●項目7「保護者への情報提供等」は、目的が果たせている。学校の努力、意図は家庭に伝わっている。引き続き、学校、家庭、地域が相互に連携しより良い北中にしていくためにも情報発信や情報共有は重視してほしい。</p> <p>●北中の伝統である「生徒の自主性、学友会、自主管理、自主活動の取組」等、地域にもわかるようなかたちで発信すると、学校の様子やよさが伝わると思う。</p> <p>●地震、防災については、中学生の役割が期待されている地域もある。高齢化しているこの地域の現状を考えると、中学生の防災意識の高揚が望まれる。また、避難所等での学校の役割についても重要性が増している。</p>	
		生徒3, 保護者3	学級及び学年・学校通信は保護者への情報提供等、目的を充分果たしている。	100	◎	97	◎	96			◎
		生徒4, 保護者4	施設・設備について定期的に点検し、適切に処理(整備・保全)や管理が行われている。	92	◎	90	◎	88			○
		生徒5, 保護者5	学校の教育活動に外部講師(地域人材)の活用を図っている。	60	△	89	○	83			○
			個人情報保護の観点から、管理が十分になされている。	84	○						
			言語環境を意識し、教職員が率先して正しい言葉遣いをしている。	88	○						
			各教科の備品や教材教具が十分に活用されている。	80	○						
			年間の学習指導計画に基づいて、学習が進められている。	96	◎						

平成28年度 学校評価(職員・生徒・保護者比較表) 考察

1+2は、1: と思う、2: ややそう思うの合計 評価 ◎: 90%以上、○: 90未満～80、△: 80%未満			職員集計結果		生徒集計結果		保護者集計結果		職員の自己評価等(考察)	学校関係者評価	
No.	大項目	他質問紙との比較	評価項目・観点	1+2	評価	1+2	評価	1+2			評価
14	C 教科指導	生徒10, 保護者8	生徒の自主的な学習(予習・復習)につながる指導を行っている。	92	◎	57	△	58	△	<p>○校内研究や日常の授業によって、授業改善の取組は進めているが、学力の定着には生徒によって差がある。生徒アンケートA票によると、授業への構え(教科書やノートの準備、集中度、ノート整理等)は、学年が上がるにつれて数値が上がる。また、自主的な家庭学習(予習・復習)も同傾向だが、数値(47～69)が低い。</p> <p>◎項目「生徒の自主的な(予習・復習)につながる指導」については、職員の自己評価92、生徒57・保護者58であり、昨年度と同傾向で差が大きい。授業と宿題をセットにした授業づくりの工夫が必要である。また、各家庭に「NOスマホ・TV・ゲームDay」の提案を、定期テスト期間等をお願いする等、家庭学習への理解と協力を得るための取組をしていくことも検討してみたい。</p> <p>◎保護者アンケートの項目「わかりやすい授業」「興味関心の高まる授業」「基礎学力向上の工夫」「学習状況の適切な評価」については、いずれも70%強の評価で、日常的にこれらの項目を意識した授業づくりが必要である。また、学習ガイダンス等の北中の取組をPRしていく必要もある。</p> <p>●「わかりやすい授業」「興味関心が高まるような授業の工夫」「生徒の質問に丁寧に答えている」については、生徒の結果は良好だが、今後さらなる改善につなげていきたい。また、授業と宿題をセットにした授業づくりや自主学習ノート等の活用を検討して、家庭学習の改善につなげていきたい。</p>	<p>●時代が変わり便利で楽しみが多すぎる生活になった。生徒が家庭でスマホやゲーム、TV等に費やす時間が増して、家庭でもなかなか指導ができない状況もあるようだ。家庭に理解や協力を求めて生活習慣を改善し、家庭学習に取り組みせる必要がある。校内研究でも取り組み、具体的な方策も検討しているということなので、改善に向けて成果を上げてほしい。</p>
15		生徒11, 保護者9	生徒にとってわかりやすい授業に取り組んでいる。	100	◎	93	◎	71	△		
16		生徒12, 保護者10	生徒の興味関心が高まるような授業の工夫をしている。	100	◎	90	◎	71	△		
17		生徒13	生徒からの質問に丁寧に答えている。	100	◎	92	◎				
18		保護者11	生徒の基礎学力向上のため指導の工夫を行っている。	100	◎			75	△		
19		保護者12	評価規準を明確にして、補助簿の整理を心がけ、生徒の学習状況を適切に評価している。	100	◎			71	△		
20	D 生徒指導	生徒15, 保護者13	生徒のあいさつは良くできている。	46	△	82	○	96	◎	<p>○「あいさつ」については昨年度と同様、職員46、生徒82・保護者96となっていて、職員のとらえ方と生徒・保護者のとらえ方の差が大きい傾向が続いている。学友会の挨拶運動も継続しているが、積極的に前向きな北中生の育成に向けて、教師自らが生徒に声かけをしていく等、取組を継続させていく。</p> <p>◎「いじめ」に関連しては、早期発見や生徒の近くで寄り添う指導を行っているが、今後も継続することが大切である。問題発生時の家庭連絡、関係生徒への丁寧な指導を行うことを継続して取り組みたい。</p> <p>●挨拶の改善策については、学校全体で授業前後の起立しての挨拶を継続しているが、各学級や学年、学校全体、家庭で、共通理解できるわかりやすい挨拶の共通ルールの指導を行い、徹底を図りたい。</p> <p>●きめ細かい観察や緊密な情報交換等により、適切な生徒理解をする。生徒の学習と生活の場である学級が、温かい人間関係で結ばれるように、今後も学校全体で取り組んでいきたい。</p>	<p>●あいさつについては、低い状況が続いている。生徒の心が開かれていないとあいさつはできない。改善の具体策が必要である。</p> <p>●学校外でのあいさつは、不審者等の問題もあり、大人も子供も声をかけにくい状況がある。小学生には、送迎ボランティアと一緒に登下校できる等、自然にあいさつもできる環境があるが、中学生には地域の人と関わる機会がない。さらに中学生になると思春期に入り、内向きになってしまう。都市化により、家庭や地域の結びつきも希薄になっている等難しい問題ではある。</p>
21		生徒16, 保護者14	生徒の相談事や悩みなどに、適切に応じている。	100	◎	92	◎	75	△		
22		生徒17, 保護者15	生徒同士のふれあいが深められ、いじめのない学級集団が育っている。	88	○	90	◎	92	◎		
23		生徒18, 保護者16	カウンセリングマインドをもって生徒理解に努めている。	100	◎	85	○	75	△		
24			生徒指導に関する情報は整理され、きちんと記録されている。	92	◎						
25		生徒19, 保護者17	生徒にとって、健康面や安心安全な指導に努めている。	100	◎	96	◎	96	◎		
26	E 特別活動・道徳・読書	生徒20, 保護者18	教室・廊下・校庭等の環境を整えるための活動が仕組みられている。	84	○	93	◎	83	○	<p>○道徳については、職員、保護者の評価が低い。職員アンケートC票でも、「思い遣る心の育成」「指導計画に基づいた道徳の授業」の評価が低い。道徳の時間は確保されているもの、授業の内容については、職員は改善の必要性を感じている。</p> <p>○読書活動については、職員アンケートで課題として上げられ、生徒と保護者のアンケート結果は、さらに厳しい評価となっている。この傾向は続いていて、朝読書は行っているが、改善にはいたっていない。朝読書だけでなく、読書の習慣化に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>●道徳の教科化に向けて、道徳の全体計画の見直しをしているが、目指す生徒像を共有し、重点目標・重点内容項目を明らかにして、生徒の実態に即した授業づくりに向けて、研修の充実を図り、職員一人一人の力量をさらに伸ばしていきたい。</p> <p>●教科の授業で積極的に図書館を利用したり、特別活動等での資料収集を図書館で行う等、図書館の日常的な活用を進めていきたい。また、家庭学習とともに読書も、家庭に呼びかけをして定着を図りたい。</p>	<p>●道徳については、教科化に備えて、授業改善や全体計画等の見直しを継続して、生徒の実態に合った成果の上がる実践をしてほしい。</p> <p>●読書については、親が本や新聞等を読むとか、家庭の環境が大きく影響しているはず。今の生徒は作文を書く力も落ちていないのではないかと。自主活動の時間に先生が読んでいる本の読み聞かせをしてやったり、本の紹介をしてやる等、学校での働きかけが必要。学習強化期間や夏休み等に県立図書館に行く生徒もいるようなので、学校外の図書館利用の実態もつかむ必要がある。</p>
27		生徒21, 保護者19	学友会活動は充実している。	100	◎	91	◎	96	◎		
28		生徒22, 保護者20	各学校行事はねらいが明確にされ、計画的に運営され、充実している。	100	◎	96	◎	100	◎		
29		生徒23, 保護者21	委員会活動の活性化に努力している。	92	○	88	○	92	◎		
30		生徒24, 保護者22	道徳授業では資料を工夫して豊かな心を育てている。	65	△	86	○	67	△		
31		生徒25, 保護者23	読書活動の定着を図る工夫を行っている。	75	△	36	△	29	△		